

報道関係各位

 医療法人偕行会
 愛知県名古屋市中川区法華1-172

中部地区初！ガンマナイフの最新機種「Icon™」導入 名古屋共立病院が定位放射線治療で他の医療機関をリード

名古屋共立病院は、従来使用していた定位放射線治療機器ガンマナイフを2017年5月に中部地区で初めて、最新型の「Icon™」へバージョンアップを行いました。

日本で初めて臨床にガンマナイフを導入した小林達也医師をはじめとする専門医や経験豊富なコメディカルのもと低侵襲かつ効果の高い治療が実現。定位放射線治療で他の医療機関をリードします。

■ 中部地区初！ガンマナイフの最新機種「Icon™」を導入

名古屋共立病院では、2004年2月よりガンマナイフ「type C」を導入し、脳病変に対する定位放射線治療を行ってきました。これまでのべ7,000件以上（2017年4月現在）のガンマナイフ治療の実績があります。今回、患者様に対しより安全で負担の少ない、高精度な放射線治療を目指して2017年5月に中部地区で初めてガンマナイフ「Icon™」へとバージョンアップいたしました。



ガンマナイフ「Icon™」

なお、名古屋共立病院では、2006年よりガンマナイフだけでなく、IMRT（強度変調放射線治療）※が可能で体幹部の治療に適した定位放射線治療機器のノバリスも導入しており、定位放射線治療の分野で他の医療機関をリードしています。（※IMRTとは腫瘍にのみ集中して高い放射線量の照射を行うことで、周辺組織への影響を最小限に抑えながらより高い治療効果を期待できます。）

■ ガンマナイフとしては初めてのマスクシステムを採用

これまでのガンマナイフ治療は、頭部へ直接フレームをピンで固定する必要がありましたが、新たに導入されたアイコンではマスクシステム※を採用しており、ピンで固定する必要が無い（フレームレスの）ため身体への負担がこれまでより軽減されるほか、今まで治療が難しかった比較的大きな腫瘍や脳幹などリスクの大きい部位に近い腫瘍にも分割照射で治療できるようになりました。

また、照射中の体の動きに対し、リアルタイムモニタリングが可能となったため、照射位置の自動補正機能により設定範囲を超えた照射の危険が無くなり、安全性が向上しました。（※）マスクシステムの適応可否については医師の判断によります。



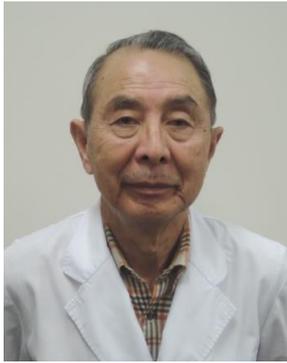
患者に負担の少ないマスクシステム

■ 定位放射線治療について

定位放射線治療は、腫瘍・病巣に対して多方向から放射線を集中させ高精度で照射する方法です。通常の放射線治療と比較し、周囲の正常組織への線量を極力減少させることが可能です。このうち「ガンマナイフ治療」とは、放射線の中でもガンマ線（ γ 線）が集中する箇所がまるでナイフで切り取られたかのような治療を可能とするためにつけられた名称です。治療に痛みが伴わず、従来の全身麻酔や開頭手術を行わなくとも脳内の病変を治療・コントロールすることが可能な低侵襲な治療法です。

Press Release

■ “ガンマナイフの草分け” 名古屋共立病院 名古屋放射線外科センター長 小林達也



私は日本で最初のガンマナイフを小牧市民病院に導入した 1991 年から現在まで、1 万人以上の患者さんを治療しました。2003 年 4 月に当院に移ってからも、引き続きガンマナイフ治療を行っています。2006 年 7 月には、新たに体幹部に適した放射線治療器ノバリスを導入しガンマナイフ治療と合わせ良好な効果が得られています。近年、放射線治療はますます重要視されるようになっており、頭部及び全身の定位放射線治療が同じ施設内のできる事が、治療医及び患者さんに必要かつ重要な事です。将来の理想的な定位放射線治療のコンセプトとしては無侵襲に、本来放射線治療すべき病巣のみを照射して、かつその周辺組織に放射線障害を起こさない事です。

【専門】

脳神経外科、定位放射線治療

【資格】

ECFMG 試験合格、日本脳神経外科専門医

【所属学会】

日本脳神経外科学会、国際脳神経外科学会（AANS）、国際脳定位的放射線学会（ISRS）、日本放射線腫瘍学会、日本脳神経外科コンgres、日本頭蓋底外科学会、日本定位放射線治療学会、日本脳腫瘍の外科学会、日本間脳下垂体腫瘍学会、日本ガンマナイフ治療学会

【役職】

日本脳神経外科学会 評議員、東海成長ホルモン研究会 幹事、日本定位放射線治療学会 世話人、Board Member of International Stereotactic Radiosurgery Society (ISRS)、日本間脳下垂体腫瘍学会 世話人、日本ガンマナイフ治療学会 世話人、International Associate Member of AANS、日本定位的放射線治療研究会 会長
日本ガンマナイフ治療研究会 会長

【受賞】

平成 15 年 1 月 Fabrikant 賞（ISRS 学会）
平成 24 年 10 月 齋藤眞賞（日本脳神経外科学会）

【著書】

「ガンマナイフ治療一症例を中心として」名古屋大学出版会 1998
「ガンマナイフ治療一長期治療成績」メディカ出版 2003
「ガンマナイフ-切らずにがんを治す放射線手術」平凡社新書 422,2008
「Pineal Region Tumors-Diagnosis and Treatment Options」Eds.T.Kobayashi,LD.Lunsford,Progress in Neurological Surgery,Vol 23,Karger2009.

【メディア】

平成 26 年 10 月 21 日 中日新聞 つなごう医療「医人伝」、平成 27 年 6 月 株式会社ゲイン「頼れる病院 2016-2017」

■ 名古屋共立病院 名古屋放射線外科センター 放射線外科部長 津川隆彦



【専門】

脳神経外科、定位放射線治療

【資格】

日本脳神経外科専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医

【所属学会】

日本脳神経外科学会、日本ガンマナイフ治療学会、日本神経内視鏡学会、日本定位放射線治療学会、日本放射線腫瘍学会

【メディア】

平成 27 年 6 月 株式会社ゲイン「頼れる病院 2016-2017」

<本プレスリリースに関するお問い合わせ>

医療法人偕行会 法人本部コーポレートブランディング部広報課 担当：岩田、伊串

TEL：052-352-1517 / FAX：052-363-7237 / 携帯：080-2632-7281（岩田）

E-mail：kouhou@kaikou.or.jp

偕行会グループ HP：<http://www.kaikou.or.jp>

Facebook：<https://www.facebook.com/kaikou>